

かけはし

- ★ 研究協力校園発表会
- ★ 千代田のICT教育
- ★ 正しく使おう！一人一台タブレット
- ★ CES活動の紹介
- ★ 4月開設の保育所・学童クラブ

令和3年3月16日発行

発行/千代田区教育委員会 編集/子ども部子ども総務課

代表電話03-3264-2111 <https://www.city.chiyoda.lg.jp/>

vol.123



千代田区のHPでも「かけはし」を読むことができます！また、Facebook、Twitterでも発行をお知らせしています！

夢と志をもち、ともに未来を切り拓く児童の育成 ～教育活動全体を通して、「学び合い」を楽しむ児童を育てる～

昨今、求められる力の一つとして主体的に判断し、他者とともに生き、課題を解決していく力が問われています。本校ではどのような時代においても他者と協働して課題解決をし、様々な情報を再構築して新しい価値を創造できる児童の育成が大切と考え研究主題を設定しました。特に「学び合い」を中心に授業構成を考え、児童同士が自分の考えを自信をもって伝え合い、他者の考えや違いを取り入れ新しい考えをともにすることで「学び合い」が活発になってきました。

11月27日の研究発表会では全12学級が授業を公開し、授業後の協議会では授業者と参加者によるよりよい「学び合い」について協議することができました。全体会では講師の先生から本校の児童の実態を踏まえたこれからの「学び合い」についてご指導いただきました。今後は教職員も学び合うことでさらに学び合う子どもを育てるよう、教育活動を展開してまいります。



和泉小学校



研究協力校園 発表会

未来を担う子どもたちに実り多き教育を！

それぞれが独自のテーマに基づいて研究を実践する、千代田区の研究協力校園。多くの関係者が集う研究発表会において、その成果を分かちあいました。

共感からひろがる子どもたちの世界 ～対話的で深い学びを支える保育をめざして～

本園では、子どもたちの「共感」する姿に着目し、共感的な関わりを通して、子どもたちの気付きや遊び、友達との関わりをつないで学びを深める実践を重ねてきました。

2月18日の研究発表会は、都区内をはじめ各地から300名近くの事前申込をいただき、「保育」「研究発表」「講演」をオンラインで公開しました。保育では、「共感のひろがる学級づくり」として研究に位置付けた「学級全体の活動」を紹介しました。講演では、玉川大学 教育学部 大豆生田 啓友教授から、子どもたちを肯定的に受け止める必要性や保育の可視化(ドキュメンテーション化)、子どもの目線の先にあるものや興味を見逃さない保育についてなど、本園の研究につながるご指導をいただきました。今後も「共感からひろがる子どもたちの世界」を大切にしたい保育を展開してまいります。

千代田幼稚園



2/18



一人一台からの学びを創む
千代田のICT教育



一人一台 タブレット端末が やってきた!



Connect Create Pioneer
つながる 創り出す 切り拓く

千代田区では、GIGAスクール構想において11月より一人一台タブレット端末が整備されました。このタブレットは、子どもたちが「自分が学びたいこと」を主体的かつ問題解決的に捉え、学びを発信し、協働しながら、お互いを尊重しあえるツールとしての活用をめざしています。

Interview
01

学校内において一人一台タブレット端末の活用を推進し、ICTの利活用を実践している情報部の先生

[昌平小学校 ▶ 坪井 美佳 主任教諭(情報部)]



子どもたちはタブレットを遊び道具としてではなく、学習のための文房具として認識し、しっかりと活用を始めています。

アルファベットが苦手だった児童もキーボード入力を通じて苦手を克服したり、ドリル教材を使って得意な分野を深めようとしていたり、子どもたちの学びへのアプローチの多様性を見ていると大きな期待感があります。

さらに、家庭学習において個別最適化されたドリルソフトを活用することで、今まで丸つけ作業に使っていた時間を、子どもたちの宿題への取組状況を把握してマネジメントする時間に充てることができている。

児童全員が平等に質の高い教育を受けられる環境整備として、今回の一人一台タブレットは大変ありがたいものでした。

[昌平小学校 ▶ 山本 和弘 教諭(情報教育主任)]



タブレットの導入にあたり、スムーズに活用が進むよう、情報部3名が主導して、保護者の皆様に向けて「タブレット導入の目的や注意事項について」動画を作成して配信しました。校内の教員には、各種導入ソフトのマニュアルを作成し、学校全体でタブレット導入に関する準備に取り組んでまいりました。

ソフトごとのIDとパスワードの管理については、一覧にまとめ、各ご家庭にも協力をいただくことで、順調な運用につながりました。

現在は、宿題をタブレットだけで完結し提出できる学年もあり、子どもたちの適応能力に驚かされます。

- ①好きな時にすぐに取り出して使えること
- ②持ち帰って家庭学習で使えること

これらのタブレットのメリットを最大限に活かし、子どもたちの学びへの意欲を高める授業につなげていきたいです。



子どもたちの感想から

Interview
02

学校でのICTの利活用を推進している校長先生

[お茶の水小学校 ▶ 太田 耕司 校長]



一人一台タブレット端末が導入されたことで以下の3つが大切な要素となってきます。

第一には、思考の見える化。多様な意見に出会うことで、物事を多面的・多角的に考えるきっかけができ、思考の幅がひろがっていきます。

第二には、協働学習。みんなで集まって考えることで自分の学びの位置を確認できるようになっていきます。

第三には、個別最適化。分からないところに戻って振り返りができたり、興味のある分野の学習を先に進めたりすることができます。

これからの社会は、変化が激しくなると予想されます。その社会を生きていく子どもたちも変化に対応することが求められます。指導する私たち教職員も上記の3つの要素を大切にしながら、新たな学びを模索していく必要を感じています。今後は今まで以上に、学校と家庭での学習の往還や、地域と連携した学びを目指してまいります。

Interview
03

一人一台タブレット端末の整備に取り組んだ教育委員会事務局の担当者



一人一台端末の管理にはライセンスの発行や管理、タブレットを安全に持ち帰って活用するためのガイドラインの整備など多くの課題がありました。これらの課題をクリアしながら配付から活用に至ったのは、各学校、保護者の皆様、関係部署のサポートがあったからこそでした。協力いただいた方々には大変感謝しております。今後も子どもたちの気付きを大切に、教育の質を高められる環境を目指してまいります。[塚田 恭平 指導主事] 写真左

ある学校にて、タブレット端末が配備された際に、一人の児童が涙ぐみながら感謝の言葉を副校長先生に伝えていたという話を聞き、担当者として感無量の思いでした。今後も「学校のために」という思いを忘れずに、全力でサポートしていきたいと思えます。[田中 慎太郎 主事] 写真中央

一人一台端末配備によって、ICTが得意な人が輝けるだけではなく、今まで人前で発表することなど、自分の思いを言葉で表現することが得意でない人も文字や絵、動画や音楽など自分の得意な伝え方で表現することで輝ける。一人一台端末で一人ひとりの輝く場ができた。そんな声が学校から聞こえてくるような環境整備に努めています。[戸栗 大貴 指導主事] 写真右

正しく使おう! 一人一台タブレット

全区立学校に配付された一人一台タブレットを子どもたちに正しく使ってもらうために、配付前や配付時に教員が話し合いを重ねて様々な取組を行いました。その取組と、タブレット配付に向けた思いをお伝えします。

自分たちでつくった、自分たちのルール!



千代田小学校 ▶▶ 戸毛 龍之介 教諭

千代田小学校では、平成29年度に児童会が中心となって子どもたちにより「SNS千代田小学校ルール」を策定しました。このSNS千代田小学校ルールは、保護者会で伝え、高学年ではセーフティ教室で確認しています。

今年度は10月に、5年生の総合的な学習の時間で、「SNSの危険性」について授業を行い、今回の一人一台タブレット端末配付に向け、事前に学びました。

授業では、一人ひとりがSNSの危険性について調べてまとめ、パソコン上でクラス全員が閲覧・コメントできる「掲示板」に載せる形で発表しました。「こんな危険性があるんだ」「改善策を載せてくれたので、自分も取り組みたい」など、子どもたちのコメントが一人ひとりの掲示板にあがりました。一人一台タブレット端末でSNSが身近なものになったからこそ、良い部分と危険な部分の両面を知ってほしいという思いを込めた授業でした。

この授業から約1か月後にタブレットを配ると、「その置き方だとタブレット落ちちゃうよ」「まだログインできない人ログインしてね」など、子どもたちの間でタブレット使用のルールについても声を掛け合う姿が見られました。



SNS千代田小学校ルール

- ① 携帯・パソコンは時間を決めて使おう
- ② ネットで見たことをすぐに信用しない
- ③ 危険なサイトは見ない
- ④ 個人情報は公開しないようにしましょう
- ⑤ メールを読む人の気持ちを考えよう

問題形式で確認! 学校独自のタブレットの使い方!



神田一橋中学校 ▶▶ 村越 悟 主任教諭

神田一橋中学校では、生徒に新しいタブレットを配付する前に、3回のガイダンスを実施しました。タブレットを使用する上で気を付けるべきことはたくさんあるのですが、特に意識してほしいこととして、「公共物として扱う」「精密機器として扱う」「学習目的のため使用する」「学校のルールを守る」「社会のルールを守る」という5点を重点的に確認しました。また、理解を深めるために、タブレットを破損してしまった事例などを使って、何が悪かったのか、どうすればよかったのかということを考える学習も行いました。数回にわたって、ルール、情報モラル、操作方法などの確認を行うことで、生徒が正しく、安全にタブレットが使えるようにしました。

生徒には、分からないことがあったらすぐ調べられる辞書のような使い方ができるようになってほしいと思っています。学校では安全かつ自由に使用していけるよう、スキルとモラルの両方を教えていきます。また、今後も2か月に1回程度、情報教育について学ぶ時間を確保し、継続的な指導を行っていく予定です。



神田一橋中の重点項目

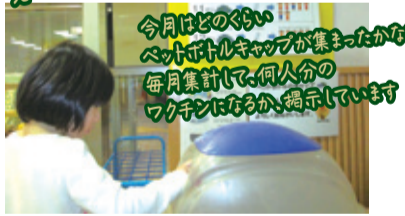
- ① 公共物として扱う
- ② 精密機器として扱う
- ③ 学習目的のため使用する
- ④ 学校のルールを守って使用する
- ⑤ 社会のルールを守って使用する

CES活動の紹介

千代田区教育委員会では、区独自の環境マネジメントシステムである「千代田エコシステム(CES)」を活用し、環境配慮活動を実践しています。子どもたちが環境について理解を深めることができるよう、各施設で特色ある活動が行われています。

西神田保育園

ゴミの量を減らすため、小さく丸めて捨てるなど、日々の中で身近なことから取り組んでいます。また、エコキャップや乾電池の回収、廃材を利用した制作活動を通して、エネルギーや資源を大切にする気持ちを育てています。



廃材の段ボールで水塔を作りました! ライトを照らして中の生き物たちを見つけています

今月はどのくらいペットボトルキャップが集まったかな? 毎月集計して、何人分のワクチンに相当か掲示しています

四番町児童館

空き箱などの廃材を使ったエコ工作が好評です。工作を楽しみながら、資源の再利用を身近に感じることができます。また野菜や花の栽培、熱帯魚の飼育を通して、自然や生き物を大切にする気持ちも育てています。



カラフルな空き箱で、おばけ家族をつくらせよ!

四番町児童館のマスコット「はんちゃん」です

麴町幼稚園

自然を愛する心や資源を大切にする意識を、遊びを中心とした日常生活の中で積み重ねながら育てています。今年度は、感染症対策を行いつつ豊かな体験となるよう工夫しながら進めました。



遊ぶ後には紙類はリサイクル!

園の授業で育てた野菜の収穫

神田一橋中学校

PTAを中心に制服や体操着、スクールバッグのリユースを行っており、生徒に貸し出しをしています。生徒の活動としては、環境委員会を中心に東京3Rプロジェクトを推進しており、特に今年度は「紙」の無駄使いをなくす活動を全校で展開しています。



保育所・学童クラブ

4月開設の

令和3年4月1日
私立認可保育所2か所、
私立認証保育所1か所、
学童クラブ2か所を
開設します！

私立認可保育所

〈問い合わせ〉子育て推進課子育て推進係 電話03-5211-3653

岩本町ちとせ保育園

場所:岩本町二丁目10番12号
運営事業者:社会福祉法人ちとせ交友会

定員:110名【69名】(0歳児:12名、1・2歳児:各19名、3歳児:20名【10名】、4歳児:20名【5名】、5歳児:20名【4名】)

※【 】内は令和3年度の受け入れ人数です。

開所日:月曜日～土曜日/基本保育時間:7時30分～18時30分
/延長保育時間:18時30分～20時30分



外神田かなりや保育園

場所:外神田三丁目6番13号
運営事業者:社会福祉法人倉敷福德会
定員:50名(0歳児:6名、1歳児:8名、2～5歳児:各9名)

開所日:月曜日～土曜日

基本保育時間:7時30分～18時30分
延長保育時間:18時30分～20時30分



私立認証保育所

〈問い合わせ〉子育て推進課子育て推進係 電話03-5211-3653

ナーサリールーム ベリーベア-霞が関

場所:霞が関二丁目1番3号 中央合同庁舎3号館地下1階

運営事業者:株式会社ネス・コーポレーション

定員:20名(0歳児:5名、1歳児:7名、2歳児:8名)

開所日:月曜日～土曜日

開園時間:7時30分～21時00分(開園時間内で延長保育を実施します)



学童クラブ

〈問い合わせ〉児童・家庭支援センター子育て事業係 電話03-5298-2424

ベネッセ万世橋学童クラブ

場所:外神田一丁目1番13号 万世橋出張所・区民館4階

運営事業者:株式会社ベネッセスタイルケア/定員:40名



学童保育じゃんぷ九段クラブ

場所:九段南四丁目1番10号 グランドメゾン九段南2階

運営事業者:特定非営利活動法人子ども支援ホーム/定員:40名



教育委員会の開催状況のお知らせ

定例会5回を開催しました。
提出された議案は2件で、すべて可決されました。

主な議案

- ▶ 令和3年度入学 中学校 学校選択結果及び今後の対応について

主な報告事項

- ▶ (仮称) 外神田一丁目公共施設における私立学童クラブの開設について
- ▶ 日比谷図書文化館 収蔵資料のデータベース化について
- ▶ ひとり親世帯臨時特別給付金の再給付について
- ▶ 千代田区立学校における新型コロナウイルス感染症対策等ガイドラインについて

Information | 教育委員会定例会を傍聴しませんか?

教育委員会は、定例会を月2回、第2・第4火曜日の15時から開催しています。定例会は原則公開ですので、傍聴を希望される方は右記をご覧ください。
※議題によって日時の変更または非公開となる場合があります。

【傍聴方法】

方法:当日受付
(定員20名受付順)
受付時間:14時30分
場所:教育委員会室入口
(区役所4階)

令和3年度

千代田区の教育・子育ての主な行事・イベントの予定

日程	行事	学校・園等
4月	入園式	保育園、幼稚園、こども園
	入学式	小学校、中学校、中等教育学校
	オリエンテーション合宿(2泊3日)	中学校
5月、6月	箱根移動教室(2泊3日)	小学校(6年生)
	孺恋自然体験交流教室(1泊2日)	小学校(5年生)
6月、7月	学力調査	小学校(6年生)、中学校(3年生)
	修学旅行	中学校(3年生)、中等教育学校(5年生)
7月	選択型合宿	麹町中学校(2年生)
	音楽鑑賞教室	小学校(6年生)
	終業式	小学校、中学校
9月	岩井臨海学校(2泊3日)	小学校(4年生)
	始業式	小学校、中学校
10月	水泳記録会	小学校(5年生)
	孺恋自然体験交流教室(1泊2日)	小学校(5年生)
11月	ウエストミンスター受入	中学校(2年生)
	合同こども会	保育園、幼稚園、こども園
12月	ウエストミンスター派遣	中学校(2年生)
	英語合宿	中等教育学校(2年生)
1月	終業式	小学校、中学校、中等教育学校
	始業式	小学校、中学校、中等教育学校
1月、2月	連合作品展	—
2月	スキー教室	神田一橋中学校(2年生)
	海外研修	中等教育学校(3年生)
3月	卒園式	保育園
	修了式	幼稚園、こども園
	卒業式	小学校、中学校、中等教育学校

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、日程・内容等が大幅に変更となる場合があります。ご理解いただきますようお願いいたします。